

平成29年度

事業報告書

この1年間、きらら3施設が頑張ったこと！

その成果と反省

社会福祉法人

県民厚生会

目次

1. 平成 29 年度事業報告	P 1 ~ P 5
2. 法人単位資金収支計算書	P 6
3. 法人単位貸借対照表	P 7
4. 施設別・事業所別事業実績表	P 8 ~ 9
5. 事業所別利用者推移表	P10
6. 平成 29 年度法人行事日誌	P11
7. わが事業所の取組み	
	【富士】 P12~
	【藤枝】 P17~
	【浜松】 P22~

平成29年度事業報告

1. 概況

4月から施行された改正社会福祉法のもと、法改正が求めるところを念頭において平成29年度の事業に取り組んできました。法改正が求めるところとは、止まることのない少子・高齢化の結果、社会保障費用は増大する一方であり、介護保険制度を始めとした現在の社会保障制度を持続させるためには、社会福祉法人が自立力を高め、地域の中での相互扶助の中核的役割を果たし得る存在になることが重要であるということだと受け止めました。

そのためには、社会福祉法人はガバナンス（企業統治）を強化して経営体力を高めて行くとともに、地域の中で社会福祉法人に相応しい活動を行えということだと考え、平成29年度の事業に取り組んできました。

ガバナンスの強化については、法人レベルでは新たに組織した理事会、評議員会は、法改正に背景や求める内容を良く理解していただき、活発な意見交換がなされる運営ができました。しかし、施設においては人材の育成に向け努力して来たものの、介護保険法上配置が義務付けられている事業管理者の配置ができず、長期にわたって施設長が兼任せざるを得ない施設があるなど課題を残しました。

もう1つの柱である、社会福祉法人としての責務を踏まえた、地域における公益的な取組みに向けた活動については組織的には初めての取組みでしたが、3施設とも積極的に取組み、施設が存在する地域との関係は一層深まったと考えています。

浜松に開設した新たな事業所のコミュニティールーム（地域交流室）はその象徴であり、地域にはこれまで気が付かなかった様々な福祉ニーズが存在していることを認識することができ、改めて社会福祉法人の役割の大きさを実感することとなりました。

富士・藤枝においても、この1年を通じて施設や地域の特性を生かした様々な取組みを行い、地域との関係は大きく前進しました。

その結果、それぞれの地域の住民や団体等が様々な取組みを行うにあたって、きららに参加・協力の要請等の声がかかるなど、今までには見られなかった地域への浸透度が実感され、その意味では29年度は、県民厚生会にとっても地域における公益的な取組みに向けた活動の「元年」となったと言えます。



2. 29年度の取組の成果と課題

(1) コンプライアンスの徹底と理念の実現

過去の不幸な経験以来、全施設においてコンプライアンスの徹底を重視し、法令が遵守されてこそその理念の実現であると考えて取組んできました。平成29年度も全事業所に行った内部監査を柱として、法令遵守の状況を点検するとともに、理念の実現、介護の質の向上を図る取組みを地道に行ってきました。

その結果、県・市の実地指導において、どの施設も特段の指摘を受けることもなくなっており、コンプライアンスの徹底意識は職員の中に定着してきています。また、諸会議の冒頭に理念を唱和するなど、施設長・管理者の組織運営によって理念の意識化も次第に深まっています。

(2) 人材育成の取組み

職員アンケートに基づき、人事考課制度の見直しやキャリアパス制度などの将来を見据えた人事制度の見直しが課題となっていました。また、事業管理者やユニットリーダーなどの介護保険法で配置が求められる、施設にとっての基幹人財の層の脆弱さから、人材育成につながる人事制度の確立が急務でした。



昨年度は、新たな人事制度の確立までには至りませんでした。しかし、キャリアパス制度を意識した人事制度の一部見直しを行うとともに、キャリアパス制度とリンクする自己啓発助成制度の創設も具体化の方向となりました。

その他の人事制度関係では、時間単位有給制度の取得日数制限を1日から5日への拡大を行い、時代の趨勢となってきた「定年制度」の延長についてもその方向で議論を開始、退職金制度の見直しと併せて次年度の課題としました。

(3) その他の取組み

昨年まで行って来た研究発表会は、県民厚生会各施設の介護の質の向上に、また施設間・職員間の交流深化にも大きな効果がありましたが、当初より5年でそのあり方を見直すこととしていたため、30年度から新たな内容で、隔年開催して行くこととなりました。

また、懸案だったホームページがリニューアルされましたので、各施設ではタイムリーに広報ページを更新しています。

B C Pについては全施設で策定され、30年度からはその運用が課題となります。

「勤怠管理・給与計算」のIT化については、本番実施に向けた施設毎の試行を行い、本年6月支給の給与か



ら新たな勤怠管理・給与計算システムが実現する運びとなっています。

その他、「寄附のいただける法人・施設」となることを将来の課題の一つと考えていましたが、労働団体の自動車総連が例年行っている福祉カンパという取組みで、さらさら浜松が自動車総連傘下のスズキ労連の推薦によって対象施設としていただき、福祉車両の寄贈を受けました。これは、施設に対する地域の評価の結果であり、誇りにできることと言えます。

3. 事業の成果と課題

(1) 事業活動収益

昨年度の事業収益目標の達成率が95%に終わったことの反省から、平成29年度は全施設・事業所が事業収益目標を達成させるため、月次毎に各施設・事業所の事業進捗状況を点検、確認しながら事業を展開してきました。

その結果、浜松の新事業を含む14事業中10事業で目標を達成し、中でも浜松では6事業すべてが目標達成という大きな成果を上げることができました。

また、新事業の稼働に伴い、県民厚生会として初めて10億円の大台を超えることとなる全事業所の目標総額を1,086,000千円としましたが、各施設の目標にこだわった取組みの結果、全施設が前年度を大きく上回る事業収入を実現し、総収益額1,113,861千円、目標達成率では102%となりました。

この増収の背景には、職員の処遇改善交付金に伴う処遇改善加算がありますので、手放しに評価することはできませんし、人件費率の低減化が法人全体の課題と言えますが、多くの事業所で利用者数を増加させたことも事実であり、全施設・事業所の職員が頑張った成果であると考えています。

4. 施設の事業結果の概況

【富士】

グループホームとケアプランセンターが1年を通じて順調に事業を展開し、目標を達成することができましたが、ヘルパーセンターとデイサービスが未達成に終わったため、富士全体としての目標達成率は96.1%でした。

事業所別「年間利用者数」の推移

(単位:人・回)

富士	27年度	28年度	29年度
GH	3,015	3,277	3,215
DS	7,344	7,764	7,375
HC	13,972	15,160	15,164
CP	1,288	1,700	1,837

藤枝	27年度	28年度	29年度
特養	23,118	25,388	25,508
SS	6,436	6,185	6,193
DS	6,423	5,555	6,340
CP	806	1,118	1,129

浜松	27年度	28年度	29年度
GH	6,494	6,433	6,513
DS	9,668	10,840	11,749
HC	13,147	15,847	14,702
CP	2,474	3,079	3,602
SS		496	5,552
機能DS		576	6,106

※CPの年間利用者数=年間請求者数。

※HCの年間利用者数=年間訪問利用回数。

デイサービスは利用者数も減少しましたが、介護度の低い利用者の割合の増加による平均介護度の低下という収入減要因が見られますので、地域や利用者の状況変化を把握した対策を考える必要があります。利用者の意識の変化に注目し、利用者ごとの利用目的に対応したサービスメニューの提供体制の構築など、新たなサービス提供に向けた検討を始めていますが、そうした工夫が浸透するには時間を要するものと思います。



ヘルパーセンターは目標未達でしたが、利用数は微増しましたので昨年比では増収となっていますし、地域にはヘルパーの利用ニーズも充分あると見ています。

しかし、介護人材の採用難の折でもあり、ヘルパー事業の有力な担い手となっている契約ヘルパーの採用が困難になっているため、利用ニーズに対応できないケースもあり、契約ヘルパーの増員が急務であると認識しています。

契約ヘルパーの採用に向けて、富士としても施設を挙げ、様々な手法を試して募集活動を行っていますが、具体的な効果を上げるには至っていません。



【浜松】

浜松は新事業も含めた6事業がすべて目標達成という大変大きな成果を上げました。これまでに職員が一丸となって築き上げた「きらら浜松の信用」が、きららの新事業への期待となって背中を押し、お陰様で開業早々から順調な事業展開ができました。また、開設間もないにも関わらず、新事業が順調に展開できたことが、さらに一層、きらら浜松への期待や信用を高めるという結果につながり、きららは多様な介護ニーズに対応できる6種類の事業を展開する施設としての強みを一層強化し、全事業が目標達成という大きな成果を上げたものと思います。

特に、新事業所に作った地域住民の交流の場「地域交流室」を、施設長を中心に地域住民をも巻き込んで、様々な企画・アイデアで積極的に活用し、多くの住民が参加できるように努めてきたことが大きな効果を生みました。文字通り、きららが地域住民にとって日常的に関わることができる施設になったと感じてもらえたように思われます。

地域交流室に寄せられる各種の相談や利用の申し込みから、きららが地域住民にとって身近な存在になったと確認できますので、この1年の経験は単に事業成果に留まらない大きな財産になりました。



【藤枝】

藤枝は特養とデイサービスが目標を達成し、ショートステイとケアプランセンターが未達成に終わりましたが、4事業の対前年度収益では3施設中最大の増加でした。規模の大きい特養が順調に収益を伸ばしたことが主要因ですが、長く低迷していたデイサービスが初めて目標を達成したことも大きな要素となりました。



一方、未達となったショートステイも、冬場のインフルエンザの季節に感染者が利用され、その影響を長く引きずらざるを得なかったことが未達成の要因になりましたが、12月時点ではほぼ目標達成が見込めるところにまでできていました。

ケアプランセンターも、目標は未達成ながら昨年比では増益となっていますし、利用者数や自施設デイサービス等への紹介数も次第に増加してきていますので、ケアプラン職員数も施設規模にふさわしい人数に増員する方向も見えてきています。



藤枝もサロン活動やきららカフェなどを年々強化・拡大して来ておりますので、これらの取組を通じた地域との関わりが年々深まってきています。サロンなどに参加された皆さんの好意的な声や、きららへの利用の申し込みなども出て来ていることは、地域の住民の皆さんの中にきららが意識されるようになって来たことの証であろうと感じています。

5. 施設・事業所からの報告

後掲「わが事業所の取組み」を参照願います。

資金収支決算書(法人単位)

(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	前年度決算 (D)	前年度比 (B)-(D)	備考	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	1,109,438,000	1,113,799,385	-4,361,385	963,222,000	150,577,385	※介護報酬が1.5億円増加し、11億円超え。
		経常経費寄附金収入	62,000	62,040	-40	0	62,040	
		受取利息配当金収入	1,000	2,158	-1,158	3,215	-1,057	
		その他の収入	4,737,000	4,851,101	-114,101	3,133,500	1,717,601	
		事業活動収入計(1)	1,114,238,000	1,118,714,684	-4,476,684	966,603,956	152,110,728	
	支出	人件費支出	843,247,000	842,951,225	295,775	739,954,803	102,996,422	※人件費は増員、処遇改善により、8億円超え。 ※事業費も事業拡大で増加。
		事業費支出	101,418,000	99,767,137	1,650,863	91,291,752	8,475,385	
		事務費支出	140,955,000	138,175,249	2,779,751	135,471,062	2,704,187	
		利用者負担軽減額	1,527,000	1,264,118	262,882	730,487	533,631	
		支払利息支出	1,490,000	1,423,663	66,337	802,363	621,300	
		その他の支出	2,761,000	2,658,582	102,418	2,984,624	-326,042	
		流動資産評価損等による資金減少額	30,000	29,819	181	0	29,819	※利用料収入の徴収不能分。
	事業活動支出計(2)	1,091,428,000	1,086,269,793	5,158,207	971,235,091	115,034,702		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		22,810,000	32,444,891	-9,634,891	-4,631,135	37,076,026		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	2,775,000	2,775,600	-600	0	2,775,600	※浜松西館職場定着助成金(介護福祉機器)
		設備資金借入金収入	0	0	0	478,000,000	-478,000,000	
		施設整備等収入計(4)	2,775,000	2,775,600	-600	478,000,000	-475,224,400	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	217,811,000	-217,811,000	※前年度は浜松西館関係の支出。
		固定資産取得支出	3,691,000	3,681,421	9,579	355,792,780	-352,111,359	
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	200,033	-200,033	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	5,799,000	5,757,696	41,304	3,038,256	2,719,440	※1件当たり300万円超のリース資産の債務。介護保険ソフトの契約更新。
	施設整備等支出計(5)	9,490,000	9,439,117	50,883	576,842,069	-567,402,952		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-6,715,000	-6,663,517	-51,483	-98,842,069	92,178,552		
その他の活動による収支	収入		0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
		その他の活動収入計(7)	0	0	0	0	0	
	支出	積立資産支出	5,000,000	5,000,000	0	2,000,000	3,000,000	※富士施設修繕積立200万円。浜松同300万円。
		その他の活動による支出	1,032,500	1,027,572	4,928	240,000	787,572	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
		その他の活動支出計(8)	6,032,500	6,027,572	4,928	2,240,000	3,787,572	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-6,032,500	-6,027,572	-4,928	2,240,000	-8,267,572		
予備費支出(10)		3,000,000	—	3,000,000	—	0	※使用せず。	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		7,062,500	19,753,802	-12,691,302	-105,713,204	125,467,006	※前年度は浜松新事業があり、最終資金収支は増益。	
前期末支払資金残高(12)		377,545,419	377,545,419	0	483,258,623	-105,713,204		
当期末支払資金残高(11)+(12)		384,607,919	397,299,221	-12,691,302	377,545,419	19,753,802	※資金残高は微増。	

法人単位貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	422,504,133	389,530,588	32,973,545	流動負債	100,777,939	72,954,414	27,823,525
現金預金	235,031,962	227,814,618	7,217,344	事業未払金	25,100,152	11,476,369	13,623,783
事業未収金	186,005,029	160,541,116	25,463,913	その他の未払金	104,760	508,800	-404,040
未収金	244,264	225,220	19,044	1年以内返済予定設備資金借入金	6,416,000	0	6,416,000
未収補助金	332,888	87,424	245,464	1年以内返済予定リース債務	6,192,288	5,540,400	651,888
前払金	432,300	411,000	21,300	1年以内返済予定長期未払金	1,446,000	0	1,446,000
前払費用	457,690	451,210	6,480	賞与引当金	61,518,739	55,428,845	6,089,894
固定資産	1,437,412,901	1,504,645,462	-67,232,561	固定負債	393,076,612	399,975,722	△ 6,899,110
基本財産	1,300,138,181	1,361,262,969	-61,124,788	設備資金借入金	313,584,000	320,000,000	-6,416,000
土地	213,468,582	213,468,582	0	リース債務	27,174,744	30,324,888	-3,150,144
建物	1,086,669,599	1,147,794,387	-61,124,788	退職給付引当金	52,317,868	49,650,834	2,667,034
その他の固定資産	137,274,720	143,382,493	-6,107,773	長期未払金	6,329,400	0	6,329,400
構築物	29,003,534	32,984,070	-3,980,536	負債の部合計	500,183,951	472,930,136	27,253,815
車両運搬具	1,613,290	2	1,613,288	純資産の部			
器具及び備品	39,412,706	46,549,232	-7,136,526	基本金	1,473,799,100	1,473,799,100	0
有形リース資産	22,101,768	25,542,648	-3,440,880	第1号基本金	1,309,299,100	1,309,299,100	0
権利	834,503	874,077	-39,574	第3号基本金	164,500,000	164,500,000	0
ソフトウェア	148,500	0	148,500	国庫補助金等特別積立金	217,021,977	223,330,158	-6,308,181
無形リース資産	11,265,264	10,322,640	942,624	その他の積立金	9,000,000	4,000,000	5,000,000
施設整備等積立資産	9,000,000	4,000,000	5,000,000	施設整備等積立金	9,000,000	4,000,000	5,000,000
差入保証金	22,240,000	22,240,000	0	次期繰越活動増減差額	-340,087,994	-279,883,344	-60,204,650
長期前払費用	1,555,155	769,824	785,331	(うち当期活動増減差額)	-55,204,650	-80,900,471	25,695,821
その他の固定資産	100,000	100,000	0	純資産の部合計	1,359,733,083	1,421,245,914	-61,512,831
資産の部合計	1,859,917,034	1,894,176,050	-34,259,016	負債及び純資産の部合計	1,859,917,034	1,894,176,050	-34,259,016

施設別・事業所別事業結果推移(直近3ヶ年)

(サービス活動収支の状況)

(単位：千円)

きらら 富士	グループホーム			ヘルパーセンター			デイサービス			ケアプランセンター		
	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年
サービス収益	45,013	45,140	46,883	61,618	54,006	57,735	67,918	73,008	67,014	16,253	21,389	23,208
サービス費用	44,591	44,214	42,743	43,187	43,812	47,426	68,143	72,578	69,520	18,196	18,312	20,032
収支差額	422	926	4,140	18,431	10,194	10,309	-225	430	-2,506	-1,943	3,077	3,176
きらら 浜松	グループホーム			ヘルパーセンター			デイサービス			ケアプランセンター		
	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年
サービス収益	88,341	88,075	92,771	56,636	53,007	52,094	102,465	97,016	105,546	36,768	39,183	45,716
サービス費用	84,039	82,341	88,102	48,011	50,420	48,898	92,464	93,737	91,105	30,764	35,056	40,928
収支差額	4,302	5,734	4,669	8,625	2,587	3,196	10,001	3,279	14,441	6,004	4,127	4,788
きらら 藤枝	特養			ショートステイ			デイサービス			ケアプランセンター		
	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年
サービス収益	322,060	333,579	343,013	82,489	80,001	82,587	62,187	53,900	63,262	10,097	14,887	16,652
サービス費用	325,746	336,065	356,211	82,539	84,591	87,158	64,261	65,628	69,326	13,238	17,012	19,261
収支差額	-3,686	-2,486	-13,198	-50	-4,590	-4,571	-2,074	-11,728	-6,064	-3,141	-2,125	-2,609
施設及び 法人	きらら富士全体			きらら浜松全体			きらら藤枝全体			法人部門		
	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年
サービス収益	190,802	193,543	194,840	284,210	287,305	413,557	476,833	482,367	505,514	5	0	0
サービス費用	174,116	178,916	179,721	255,433	306,789	415,512	485,784	503,296	531,956	47,430	45,000	44,101
収支差額	16,686	14,627	15,119	28,777	-19,484	-1,955	-8,951	-20,929	-26,442	-47,425	-45,000	-44,101
浜松 西館	きらら浜松機能訓練デイ			きらら浜松ショートステイ			法人 全体	2015年	2016年	2017年		
	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年						
サービス収益		3,750	45,711		6,247	71,719	サービス収益	951,850	963,215	1,113,861		
サービス費用		17,507	54,014		27,728	92,465	サービス費用	962,763	1,034,001	1,171,297		
収支差額		-13,757	-8,303		-21,481	-20,746	収支差額	-10,913	-70,786	-57,436		

平成29年度資金収支実績表(確定値)

(単位:千円)

富士	GH	DS	HC	CP
事業活動収入	46,800	68,200	57,700	23,200
人件費支出	30,400	48,900	43,800	17,000
事業費支出	5,100	6,600	600	400
事務費支出	4,900	12,900	3,200	2,000
その他支出	200	700	300	100
支出計	40,700	69,300	48,000	19,600
当期収支差額	6,000	-1,200	7,700	3,600

藤枝	特養	SS	DS	CP
事業活動収入	343,900	82,700	63,700	16,700
人件費支出	240,900	59,000	51,100	15,700
事業費支出	39,800	9,000	5,000	100
事務費支出	44,100	10,800	10,100	1,800
その他支出	5,600	200	600	100
支出計	330,600	79,100	67,000	17,900
当期収支差額	12,700	3,500	-3,200	-1,100

浜松	GH	DS	HC	CP	SS	機能DS
事業活動収入	93,100	106,100	52,200	45,700	72,000	46,000
人件費支出	62,700	61,300	43,600	33,700	62,000	34,800
事業費支出	9,600	8,100	700	600	8,200	5,300
事務費支出	8,000	15,500	3,100	4,400	6,600	4,200
その他支出	800	1,000	200	200	2,200	1,200
支出計	81,200	86,000	47,800	39,100	79,100	45,700
当期収支差額	11,800	16,500	4,300	6,600	-4,300	200

	富士	藤枝	浜松	法人本部	法人計
事業活動収入	196,100	507,100	415,200	0	1,118,700
人件費支出	140,300	366,800	298,400	37,000	842,900
事業費支出	12,800	54,100	32,800	0	99,700
事務費支出	23,100	67,000	42,000	5,000	138,100
その他支出	1,400	6,700	5,800	700	14,800
支出計	177,700	494,800	379,100	43,900	1,095,700
当期収支差額	16,300	11,800	35,300	-43,700	19,700

(注)

- ① その他支出は、その他の事業活動支出+施設整備等支出の計。
- ② 当期資金収支差額は、拠点間繰入金等のその他の活動収支額を除く。
- ③ 十万円未満切り捨てのため、合計金額の端数は相違する場合がある。

※人件費比率 富士 71.5% 藤枝 72.3% 浜松 71.8% 法人本部 75.3%

施設	ケアプランセンター				チャイニーズ				ヘルパーセンター				グループホーム			
	月	種類	自備 (人数)	実績 (人数)	達成率 (%)	新規 (人数)	終了 (人数)	自備 (時間)	実績 (時間)	達成率 (%)	新規 (人数)	終了 (人数)	自備 (人数)	実績 (人数)	達成率 (%)	
富士	4月	介	115	109	94.8%	7	0	500	430	86.0%	93	7	0	270	270	100.0%
	5月	介	115	110	95.7%	4	2	500	453	90.6%	93	5	0	279	279	100.0%
	6月	介	115	105	91.3%	3	4	500	426	85.2%	98	7	2	270	270	100.0%
	7月	介	115	109	94.8%	2	3	500	434	86.8%	93	2	2	270	270	100.0%
	8月	介	115	106	92.2%	6	4	500	445	89.0%	96	6	3	279	279	100.0%
	9月	介	115	112	97.4%	4	2	500	437	87.4%	98	4	5	270	270	100.0%
	10月	介	115	115	100.0%	6	1	500	419	83.8%	95	5	4	270	259	95.9%
	11月	介	115	114	99.1%	5	2	500	414	82.8%	95	3	3	270	270	100.0%
	12月	介	115	120	104.3%	11	4	500	380	76.0%	98	6	3	279	243	87.1%
	1月	介	115	115	100.0%	1	1	500	365	73.0%	90	0	3	279	274	98.2%
	2月	介	115	110	95.7%	2	2	500	354	70.7%	87	3	5	252	252	100.0%
	3月	介	115	113	98.3%	6	2	500	374	74.7%	87	5	3	279	279	100.0%
年度計	介	1,300	1,328	102.1%	57	32	5,000	4,930	98.6%	1,123	53	33	3,267	3,215	98.4%	
平均	介	155	153	98.8%	4.8	2.7	50.0	41.1	82.2%	93.6	4.4	2.8	272	267.9	98.4%	

施設	ケアプランセンター				チャイニーズ				ヘルパーセンター				グループホーム			
	月	種類	自備 (人数)	実績 (人数)	達成率 (%)	新規 (人数)	終了 (人数)	自備 (時間)	実績 (時間)	達成率 (%)	新規 (人数)	終了 (人数)	自備 (人数)	実績 (人数)	達成率 (%)	
松浜	4月	介	200	212	106.0%	12	4	35	35.7	102.1%	107	3	1	450	521	96.5%
	5月	介	200	210	105.0%	9	6	35	38.1	108.9%	112	6	5	558	558	100.0%
	6月	介	200	213	106.5%	15	6	35	38.0	108.5%	115	2	1	540	540	100.0%
	7月	介	200	224	112.0%	17	7	35	35.8	102.4%	112	4	2	558	558	100.0%
	8月	介	200	222	111.0%	11	8	35	38.3	109.4%	116	2	1	558	558	100.0%
	9月	介	200	221	110.5%	7	3	35	38.6	110.3%	113	4	3	540	540	100.0%
	10月	介	200	225	112.5%	10	5	35	39.8	113.7%	119	3	1	558	548	98.2%
	11月	介	200	228	114.0%	6	3	35	38.9	111.1%	113	0	0	540	520	96.3%
	12月	介	200	231	115.5%	5	5	35	39.8	113.7%	109	0	5	558	550	98.6%
	1月	介	200	225	112.5%	11	12	35	32.6	93.1%	106	1	0	558	558	100.0%
	2月	介	200	220	110.0%	10	9	35	39.1	111.7%	110	5	0	504	504	100.0%
	3月	介	200	228	114.0%	8	10	35	39.4	112.6%	110	3	1	558	558	100.0%
年度計	介	2,400	2,659	110.8%	121	78	420	454.1	108.1%	1,342	33	16	6,570	6,513	99.1%	
平均	介	250	300	120.1%	10.1	6.5	35	37.8	108.1%	112	2.8	1.3	548	542.8	98.1%	

施設	ケアプランセンター				チャイニーズ				ショートステイ				特養			
	月	種類	自備 (人数)	実績 (人数)	達成率 (%)	新規 (人数)	終了 (人数)	自備 (時間)	実績 (時間)	達成率 (%)	新規 (人数)	終了 (人数)	自備 (人数)	実績 (人数)	達成率 (%)	
富士	4月	介	83	75	90.4%	2	1	25	17.7	70.7%	50	1	1	540	497	92.0%
	5月	介	85	81	95.3%	5	0	25	21	84.0%	51	3	2	558	482	86.4%
	6月	介	86	82	95.3%	2	2	26	24	92.3%	56	6	2	540	444	82.2%
	7月	介	87	79	90.8%	5	2	27	29	107.4%	57	5	1	558	473	84.8%
	8月	介	88	75	85.2%	4	2	27	29	107.4%	58	1	0	558	544	97.5%
	9月	介	90	79	87.8%	2	0	28	30	107.1%	64	6	1	540	574	106.3%
	10月	介	92	84	91.3%	3	0	28	31	110.7%	66	3	1	558	593	106.3%
	11月	介	93	83	89.1%	2	0	29	27	93.1%	64	2	3	540	577	106.9%
	12月	介	94	92	97.9%	10	3	29	29	100.0%	67	7	0	558	590	105.7%
	1月	介	95	89	93.7%	6	6	30	27	90.0%	58	2	4	558	453	81.2%
	2月	介	95	92	96.8%	4	0	31	28	90.3%	68	4	2	504	472	93.7%
	3月	介	95	93	97.8%	6	3	31	29	93.5%	72	4	2	558	484	86.8%
年度計	介	1,083	1,008	93.1%	51	19	300	245.5	81.8%	731	44	19	6,570	6,193	94.3%	
平均	介	118	112	94.8%	4.3	1.6	25	20.5	81.5%	60.9	3.7	1.6	548	516	94.3%	

施設	ケアプランセンター				チャイニーズ				ショートステイ				特養			
	月	種類	自備 (人数)	実績 (人数)	達成率 (%)	新規 (人数)	終了 (人数)	自備 (時間)	実績 (時間)	達成率 (%)	新規 (人数)	終了 (人数)	自備 (人数)	実績 (人数)	達成率 (%)	
松浜	4月	介	400	422	105.5%	46	20	0	15	18	120.0%	57	7	0	0	0
	5月	介	400	469	117.3%	50	9	3	17	18	105.9%	60	5	0	0	0
	6月	介	420	451	107.4%	50	7	3	18	23	127.8%	68	8	0	0	0
	7月	介	420	504	120.0%	53	14	3	20	23	115.0%	81	7	2	2	2
	8月	介	440	509	115.7%	58	8	3	20	21	105.0%	77	1	3	3	3
	9月	介	440	442	100.5%	57	11	2	22	25	113.6%	84	12	1	1	1
	10月	介	440	382	86.8%	57	6	0	27	25	92.6%	82	2	0	0	0
	11月	介	450	434	96.4%	61	9	1	27	26	96.3%	86	4	0	0	0
	12月	介	450	459	102.0%	66	17	1	27	27	100.0%	80	2	3	3	3
	1月	介	450	470	104.4%	66	9	3	30	26	86.7%	85	4	1	1	1
	2月	介	465	487	104.7%	62	6	2	30	28	93.3%	90	6	1	1	1
	3月	介	465	523	112.5%	64	5	1	30	27	90.0%	88	3	1	1	1
年度計	介	5,240	5,552	106.0%	690	121	22	283	287.0	101.4%	938	61	12	12	12	
平均	介	437	482.7	108.0%	57.5	10.1	1.8	24	23.9	101.4%	78.2	5.1	1.0	1.0	1.0	

平成29年度 法人行事日誌

月	主な行事	月	主な行事
4月	常勤理事会（7日）	10月	常勤理事会（6日） 監事監査（業務監査）（20日）
5月	常勤理事会（8日） 第3者委員会（8日） 監事監査（会計監査）（23日） 第68回理事会（31日）	11月	常勤理事会（7日） 第3者委員会（7日） 県法人指導監査（21日）
6月	常勤理事会（5日） 第1回評議員会（19日） 第69回理事会（19日）	12月	常勤理事会（4日） 共同決定委員会（4日）
7月	常勤理事会（7日） 共同決定委員会（7日） 第1回全施設管理者会議（21日）	1月	常勤理事会（5日） 第2回全施設管理者会議（中止） 第71回理事会（30日）
8月	※常勤理事会（中止）	2月	常勤理事会（5日） 合同事務会議（5日） 静岡介護福祉事業協同組合総会（28日）
9月	常勤理事会（8日） 第70回理事会（28日）	3月	常勤理事会（5日） 第72回理事会（30日） 第2回評議員選任解任委員会（30日）

【内部監査実施日】

6月16日 浜松SS	8月28日 富士GH	10月27日 浜松HC
6月22日 浜松機能訓練DS	8月29日 浜松DS	11月22日 富士HC
7月20日 富士DS	9月21日 浜松GH	11月27日 藤枝特養・SS
7月25日 浜松CP	9月25日 藤枝CP	12月18日 藤枝DS
	10月25日 富士CP	

わが施設の取組

おもてなしの心 想いを一つに

【 きらら富士 総括】



29年度を振り返り

地域に施設が軒並み増える中、きららが選ばれる施設になる為にはどうしたらいいのかを考えた一年でした。

介護収入では4事業所中、2事業所が目標を達成できず、それが富士の柱の事業所の為、残念ながら富士全体でも目標を達成することが出来ませんでした。

29年度の目標 総括

- ①働きやすい職場：離職も少なく職員同士が思いやりをもてた
- ②OJTの実施：初任者研修・他事業所への研修・自己選択による研修の実施
- ③安心して利用できる施設：安全第一！大きな事故なし
- ④地域貢献：地域の望みの聞き取りを2つの地域の文化祭や祭りに参加し実感
新勤怠管理システムが導入され衛生管理上も良い職場環境に努めました。
産業医とともに職員の健康を考えた一年でした。

施設長 橋本晴美

<ご家族とご利用者の思いで作り>

【きらら富士 グループホーム】

事業所目標

笑顔満載

ワッハハハハ♡

今日ここに、ご入居者と私達の1日の始まりがある。どんな時も笑顔を忘れず、互いに思いやる気持ち・チームワークを大切に、笑顔溢れる温かいホームを目指しています。



庭でいっしょく



きらら富士の特徴

GHきらら富士では、ご家族とご入居者の思いでの1ページを大切に出来る限り個別のご要望に応えるようにしています。それがきらら富士ならではのサービスとなり皆さんの笑顔のお手伝いのできたらと尽力していきたいと思っております。

火災避難訓練時の行動分析に基づく課題検討

(認知症グループホームきららを対象に)

常葉大学社会環境学部池田浩敬研究室
小林・高之口



手作りおせち



日常手伝いもお手のもの☆

防災にも力を入れてます

私たちGHの防災訓練は突然訓練<突然地震がおきたら・・・突然火災が発生したら・・・>と突然を想定して訓練をおこなっています。今年度は地域の常葉大学が防災の研究論文を書くのに協力し、きらら富士の防災訓練をカメラ4台を用いて職員の動向等研究して頂きました。改善策を取り入れながら今後の訓練に役立てていこうと思います。



喀痰吸引等研修の受講

ALSなどの難病の方も含め、経管栄養・喀痰吸引等が必要な方の受入れと体制強化の為、喀痰吸引等研修修了者を2名から6名へと増やしました。ヘルパーとして、出来る限り、在宅での生活を継続していただけることに、これからも力を注いでいきたいと思えます。



誕生日プレゼントの贈呈

利用者様からの要望等があったり、職員一人一人が「自ら作ったものを手渡し、利用者様の反応を頂く」機会を持つという考えから誕生日プレゼントを再開しました。プレゼントは、低コストながら、毎日使えてあると助かる物を考えて、きららのロゴ入りマグカップに決めました。反応は、とても喜んで下さっている方から、そのまま飾っている方など様々です。会議の終わり時間に皆で和気藹々とそれぞれの利用者様への思いを込めて作成。手渡し、喜びや笑顔を頂いて頂き、その方への思いやモチベーションへと繋がっています。



ALS（筋萎縮性側索硬化症）を患っている方の受入れ

ALSとは、脳の命令を筋肉に伝えるニューロン（神経細胞）が侵される病気です。進行すると思考回路・五感・内臓などは、しっかりと保たれているのに、全身のあらゆる筋肉が段々と動かなくなり、最終的には、顔や指先すらも動かせなくなり、意思も表現もできなくなります。呼吸器をつけるかの選択を余儀なくされ、介護負担を掛けたくないと思われ、死を選ぶ方も少なくありません。24時間、人や医療機器の助けがなければ生きていけない状況にあることは、一生変わりません。

現在きらら富士では、新たな受入も入れ、3名の方の支援を行っています。

受け入れている方の症状や段階は違えど、どの方も先の不安を感じながらも、自分らしく生きていきたいと思って、毎日を送られています。

支援の大きな壁は、コミュニケーションが取れないことで、お互いに伝えられず、分からずで、とても辛く感じています。

加えて、支援時間も90~180分と長く、相手の心身の状況を理解した細かなケアが必要になり、負担の多い支援ではありますが、職員同士で、介助方法や理解を深め、モチベーションを保つために、何度も何度も話し合い、葛藤と支援を繰り返しながら、その方が、最期の時まで「その方らしく」過ごせるように、円滑に医療・障害・介護が連携し、出来る限り

自分たちの領域内でお手伝いしていきたいと思えます。



平成29年度 きらら富士デイサービスセンター 事業報告書

平成29年度は、施設入所等による利用者の減少が多くあり、新規登録者が追い付かず、目標を大きく下回る結果となりました。

しかし、利用者の減少による余剰時間を活用し、記録、業務体制、ご利用者へのサービス向上の取組、機能訓練体制の整備を行うことができました。



屋外歩行訓練で須津溪谷を歩く



個別機能訓練の様子

②個別機能訓練を充足

・個別機能訓練を適切なアセスメントの元に行なっています。「とれる加算はとる」という考えではなく、「必要な人に必要な訓練を」という考えの元、実施しています。機能訓練指導員や介護職員はご利用者と膝を突き合わせて、訓練を実施しています。車椅子だった方の「6月には旅行にいきたい」という目標を叶える為、歩行器を使いながらも歩けるようになった事例もあります。

・マニキュアやお化粧のサービスをするオシャレの日、職員と一緒に炊き出しや料理、手芸や作品作り…ご利用者が生き生きと輝ける工夫を職員は行なっています。
・毎月26日は「風呂の日」として、職員が工夫をしたお風呂をご利用者に提供しています。例えば職員宅に咲くバラの花びらをたくさん浮かべた「バラ風呂」や、「みかん風呂」、「漢方の湯」等、好評いただいています。
・平成28年度末に職員の退職が重なり、業務が大変な時にも協力し合ったスタッフ。「ご利用者のために」知恵を出し合い、笑顔で助け合うスタッフに恵まれました。平成30年度は、この「人財」で、躍進を遂げたいと思います。
センター長 渡邊朋義

①職員の働きやすい職場環境づくり

・業務の効率化を図り、残業を大幅に減らすとともに、働きやすく、仕事と家事を両立できる職場づくりを行いました。
・通所介護計画書とケアマネージャーへの報告書、モニタリングの書式をエクセルで連動させ、モニタリング等にかかる負担を1/2に減らしました。
・提供票とほのぼの(介護ソフト)を徹底管理し、活用することで、当日利用者の確認や記録、請求にかかるミスを減らし、業務負担を減少させ、利用日間違いなども減少しました。

③事故の起きにくいデイ

・パソコンをデイフロアに設置し、事務所に籠ることなく、見守りをしながら連絡帳を作成したり、事務作業ができるようになりました。
・フロアのテーブルをサイズダウンし、通路を確保しました。
・フロア内の整理整頓を徹底しています。



児童クラブとの交流

④情報の集約

・カウンターを設置し、情報が一ヶ所に集まるようにしました。
・介護ソフトやiPadの活用により、情報が記録やモニタリングに反映されるよう、体制を整備しました。

きらら富士ケアプランセンター

毎朝の打ち合わせでは、ケースについて相談し合い、他のケアマネのケースの把握に努めたり、質の高い支援ができるように取り組んでいます。

広見さくら祭り



H29年度は地域貢献委員と協力し地域で開催される文化祭や桜祭りに参加し、地域の方との交流を深めました。

おやつ作り



栄養士の講義と調理実習

わが事業所の取組

<ご利用者様の最高の笑顔のために>

【きらら藤枝 施設全体】

29年度は2つの事業所管理者の交代で、大きな節目の年となりました。前年度、目標達成ができなかったショートステイとデイサービスが、今年度こそはと職員一丸となり、目標達成に向けて取り組んできました。

利用者獲得とサービス向上は、職員一人一人が理念を意識できているかが重要だと管理者が職員に発信し続けてくれたおかげで、着実に利用率が上がりました。今まで低迷していた在宅サービスが活性化されると、施設全体が躍動感に溢れ、正に「きらきら輝く笑顔が溢れている施設」となった気がします。

また、昨年度好評だった地域向けサロンを、本格的にきららでも開催し、着実に地域での認知度を上げられた1年でした。地域向けの活動を活発に行うことで、介護保険サービスにもつながったケースもあり、施設内でのサービスだけでなく、地域活動で認められることも重要であると職員達も実感できたと思います。

来年度も事業所の連携を密に、施設の利用者様、そして地域の皆様に愛されるきららを全職員で創り上げていきます。

施設長 望月 忍

きらら祭り



あいにくの雨でしたが、チームワークで盛り上げました♡

マッサージ師さんによる施術



『腰痛から職員を守ろう』県の委託事業に協力しました。

きららサロン



各事業所職員が得意分野を活かして、毎回大好評でした。

PK選手権



介護の奥深さを学ぶ、施設対抗戦、頑張りました!!

忘年会



忘年会、特養の余興は「35億！」

事務の紹介



施設職員の頼もしいサポーター！縁の下の力持ちです。

H29年度キラキラ輝く笑顔!!



平成29年度は、事業目標を達成する事が出来ました。稼働が、順調に推移した結果です。すぎやま歯科医院に、週一回訪問歯科診療にきてもらい、口腔衛生を整え、今まで以上に入居者様の体調管理に取り組めたおかげです。引き続き丁寧な口腔ケアを心掛けます。

また、毎月色々な行事やイベントを企画し、楽しんで頂けるよう、施設内はもちろんのこと、おしゃれにスターバックスや花鳥園などに出かけてきました。7月に開催した家族会では、ご家族とユニット職員が座談会形式で話をする時間を設けました。職員との距離が縮まった、家族同士が親しくなった等と、ご好評を頂きました。これからも、より一層喜んでもらえるような企画を考えていきます。

ケア向上委員会は、4年目に入りました。全職員のケア向上に対する意識は高まりました。30年度は、改めて接遇・マナーがケアの基本である事を念頭に置き取り組んでいくこととします。

また個別機能訓練加算をとる為に29年度から準備を進めてきました。機能の維持・向上をしていつまでも笑顔で過ごして頂けるよう努めてまいります。



藤枝市PK選手権に参加しました。ケアを、あらためて考える機会になりました。



外出レク



みなさんのお誕生日をお祝いしました。100歳を迎えた方が、3名となりました。

行事・イベント



【笑顔あふれる居心地の良い第二の家】

ご利用者の笑顔が見たくて、おやつレクを月4回に今年度は増やし職員と一緒に作る事、食べる事で家庭的な雰囲気づくりを行ってきました。豚汁レクでは、美味しいね♡と笑顔が溢れ汁物を普段嫌がるご利用者も2杯召し上がる程好評でした。



外出レクにバーベキューレク。今年は、初の試みとして多目的室にてクリスマス会を開催。昼食を楽しみ夢の国に居るみたいと喜ばれていました。



ご利用者の笑顔に出会う為に色々な事を考え、職員が少しでもご利用者様に関われるようにIpad導入したり業務についても考えながら取り組んできました。30年度は、また新体制になるため、24Hシートを活用しながら前を向いて進んでいきたいと思えます。



ハロウィン⇄バーベキュー

笑顔いっぱい♡



平成29年度、職員体制も新しくなり、悩む事も多くありましたが、ご利用者様と共に職員も楽しく笑顔で過ごせるデイサービスを心掛けてきました。また、事業所としては、地域や他事業所との関わりを多く持つ様に利用者様の情報共有をはじめ、地域のサロンや防災訓練・各施設行事に参加し開かれたデイサービスを目指してきました。1日利用者目標25人に対し、22.7人まだまだ努力が必要ではありますが、着実にご利用者様も増えてきています。在宅での生活が1日も長く続けられる様にご利用者様・ご家族様の思いに寄り添ったサービスが提供出来る様、職員一同介護力の向上に努めて行きます。
平成29年度 新規利用者数 42名

掛川 花鳥園



機能訓練を兼ねて、初めて1日外出に行きました。暖かいハウスの中で、花やフクロウを見ながら、広い園内を楽しそうに歩かれるご利用者様の笑顔がとても印象的でした。ご利用者様からは、「また、連れてってね」と。ご家族様からは、「普段出掛ける事がなく、有難かった」と好評でした。



運動会



夏祭り



ラフターヨガ



今年1年は、職員一人一人が成長した1年でもありました。ご利用者様・ご家族の為に何が出来るか、失敗もありましたが、みなさんに支えられ業務を遂行する事が出来ました。



【 きらら藤枝ケアプランセンター 】



29年度は施設でのサロン活動に参加して、アロママッサージやレクなど他部署と協働して盛り上げました。また、地域包括支援センターの事例検討や地域ケア会議等にも参加させていただきました。

利用者数は各職員が様々な業務に積極的に関わってくれたこともあり、順調に伸ばすことができました。

30年度は新しい職員も迎えて増々パワーアップしていきます！

わが事業所の取り組み

【きらら浜松 施設長・事務】

29年度は本館に加え西館立上げ1年目、寝ても覚めてもきらら一色の一年間でした。施設のこと、ご利用者様のこと、ご家族のこと、地域の皆様のことと、やりがいのある一年間でした。

職員達も必死で応えてくれ、事業収支は6事業すべてが目標を100%達成できました。まさに「よく頑張った!!」の一言に尽きると思います。西館の立上げは苦労もたくさんあったと思いますが、チームでまとまり乗り越えてくれました。職員一人ひとりの努力の結果が、たくさんのご利用者様の笑顔につながったと思います。

地域の皆さんのサポートも大きな力となりました。きららカフェは「気楽に立ち寄れる憩いの場」をコンセプトに第2、第4土曜日に西館（地域交流室、機能訓練デイ）を開放して開催し、年齢を問わず多くの地域の方々が訪れてくださいました。

コーヒーの無料サービス、カフェコンサートの開催やリハビリ機器の提供が口コミで広がり、毎回30名以上の来訪者があり、わいわい笑顔で地域の活性化に繋がりました。介護や子育ての相談もあり、私も専門職として関わらせていただきました。

第1土曜日の「こども食堂」は一緒にカレーを作り、「おかわり!」の子供たちの声に元気もらいました。引き続き「地域との共生・地域への貢献」に職員と一緒に取り組んでいきたいと思っています。

30年度も、職員、ご利用者様、ご家族や地域の皆様にも「きららに行きたい、行ってみたい」と思っていただける、魅力ある施設運営に努めていきたいと思っています。

施設長 太田 悦子



平成29年度は従来の事業所と新しい事業所が共により魅力的な施設になるよう職員一丸となり頑張りました。平成30年度は新しいメンバーを加え新体制での業務がスタートしました。さらなる飛躍を目指し、しっかりとサポートしたいと思います。事務



100円ショップへ買い物♡



佐鳴湖公園にお花見♡

平成29年度 報告 きらら浜松テイサービスセンター

1年間の取り組み実績

- 目標 月平均 35人以上 → 37.8人 達成！！
- 職員の質の向上 → 利用者様の対応・接遇・勉強会
事故再発防止検証を行なう
- 災害対策 → 利用者様と一緒に防災訓練の実施
- 地域交流 → 地域の老人会 園児との交流継続



どらやき作り♡



防災訓練 ☀



今年も職員一丸とな
り、活気のあるテイ
楽しいテイを目指し、
頑張りました。

〈きらら浜松 グループホーム〉

29年度グループホームでは昨年度と同様によりきららでの生活を楽しんでもらえるように、地域の方と交流を図る行事や外出など企画してきました。またその中でも家族会の開催や家族の方や地域の方に、より認知症への理解を深めていただこうと認知症サポーター養成講座を開く場所の提供をさせていただきました。



認知症サポーター講座の一幕です。少しでも多くの方に知っていただけるのは嬉しいですね。

楊子町子育て支援会の方たちの来設もありました。



例年のお祭りへの参加もしています。



大きな外出としては遠足にて豊橋の、のんほいパークへ行きました。



家族会では職員がメニューを考え・作り家族の皆様に振る舞わせていただきました。

懇親会では一年の出来事を振り返るDVDを見てくださいました。(施設長は泣いてました)



前年度、入院する事故件数が多かったことを踏まえ 29年度は連絡ノートを活用した職員が危険を感じた事を報告しあう危険検証の時間を作りました。毎日5～15分程度の時間をとって行われたものですが、その甲斐あってか29年度は特に大きな事故は無く皆様に過ごしていただく事が出来ました。





きらら浜松 ヘルパーセンター



29年度は 70 件の新規受け入れをしました。

今後も、安心・安全、選ばれるヘルパーセンターを目指していきます。



きらら浜松西館 調理室



敬老の日



お正月



栗御飯

29年度は、ご利用者様に喜んでいただけるメニューを季節ごとに提供しました。

30年度はお楽しみメニューを設定し、楽しい食事をより充実させていく予定です。

【きらら浜松ショートステイ】



イツ・ショー (ト) ちんどん
タイム!?

熱演中!



楽しく、活気あるショートステイを目指して 一年間試行錯誤を繰り返しながら奮闘してきました。まだまだ伸びしろは十分にあると思いますので、創意工夫しながらご利用者様の満足度を高めていきたいと思っています。

今はメジャーリーグベースボールで大谷選手が大活躍していますが、何かに一辺倒にならず、いろいろな場面でバランスよくメリハリをつけて「二刀流」を心掛けていきたいと考えています。



どじょう
すくい



玉入れ

きらら浜松機能訓練デイサービスセンター

ゆっくりしっかりリハビリと介護をいたします。



ご利用者のペースに合わせて、リハビリと介護をしようと1年間取り組んで来ました。

スローガンの「ゆっくりしっかりリハビリと介護をいたします。」を少しずつ実践できるようになってきたように思います。

ご利用者も少しずつ増えて来ました。たくさんの方に喜んでいただけるデイサービスに行きたいと思います。



機能訓練を充実させることを責務として取り組んでいます。



自動車総連より福祉車両の寄贈していただきました。車両はスペーシアです。感謝の気持ちを忘れずに地域福祉に貢献をして行きたいと思えます。



毎週金曜日はカラオケを楽しんでいます。地域交流室が、カラオケ喫茶のようになります。

きらら浜松ケアプランセンター

わ～くん介護講座



29年度は8人となり様々な勉強をしてきました。毎週実施している定例会では竜洋クリニックへ訪問し、透析の仕組み、注意点、料金などを深く知り、CM⇄病院の意見交換もして良い勉強となりました。また、きららカフェに行き相談を受けたり、時にはボランティアさんと一緒にパフォーマンスをするなど地域の人も交流を深められたと思います。介護教室でも個々の良さを活かして分かりやすく、楽しい内容で来場者の方にも喜んでいただけました。

様々な活動や日々の仕事を通じてチームワークも強化され、お互いを高めあうことができました。30年度もチーム力を活かし困難ケースや様々な活動も頑張っていきたいと思います。

♪ケアプランセンター職員一同♪

竜洋クリニック勉強会



カフェコンサート参加 あこがれのハワイ航路

施設に貢献！草とり

防災訓練

きらら新年会



KIRARA Hamamatsu

Care Plan Center 2019



きらら（富士・藤枝・浜松）法人	氏名	
特養・GH・DS・HC・SS・CP・事務		